

会 議 録

平成26年1月31日調製

審議会等名	平成25年度 第2回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成25年12月18日(水) 午後2時～4時40分		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞社
出席者氏名	委員 阿部 涼子委員(議長) 阿久津 文雄委員(副議長) (11人) 小野島 臣儀委員 安藤 正之委員 村田 洋子委員 倉品 章委員 米山 文子委員 弥田 正蔵委員 石原 房子委員 石黒 正晴委員 佐藤 英夫委員 (欠席者) 桑原 理委員 諸橋 信子委員 土屋 文舟委員 高橋 清委員		
	職員 金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長 (12人) 高須図書館長兼歴史民俗産業資料館長 羽賀諸橋轍次記念館長 長橋嵐南公民館長 佐藤井栗公民館長 渡邊大崎公民館長 石田大島公民館長 高波栄公民館長 味田下田公民館長 金子生涯学習課課長補佐 野村生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐 小林生涯学習推進係長		
議 題	(1) 平成25年度 生涯学習・社会教育事業の中間報告について		
	(2) 平成26年度 生涯学習・社会教育事業の方向性について		
	(3) 三条市生涯学習市民意識調査「生涯学習アンケート」の結果について		
	(4) その他		
会議内容	別紙のとおり		

阿部議長	<p>これより平成25年度第2回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。本日の会議は、出席委員11名、欠席委員が4名であり、三条市社会教育委員会議運営規則第4条及び三条市公民館運営審議会規則第3条の規定により、委員の過半数を超えていますので、本日の会議は成立することを報告いたします。市民部長は公務出張により欠席とのことですので、代わりに金子生涯学習課長より挨拶をお願いします。</p>
金子生涯学習課長	<p><課長挨拶></p>
阿部議長	<p>これより会議に入ります。「議題（1）平成25年度生涯学習・社会教育事業の中間報告について」事務局より説明をお願いします。</p>
金子生涯学習課長	<p>資料No.1「平成25年度 生涯学習課事業実施状況について」により、実施状況の中間報告について説明いたします。</p> <p><芸術文化事業、主に次の事業について説明></p> <p>文化芸術振興に関する懇談会、第9回三条市美術展、第9回三条市音楽祭、音楽公演、わくわく文化未来塾（16講座）、芸術鑑賞ツアー、三条楽音楽祭、抽象彫塑に挑戦しよう！、岩田正巳生誕120周年記念「ふるさとの新春を飾る岩田正巳展」、美術館めぐり、若手芸術家支援事業「中村暢子書展～高みへ……新たなる挑戦～」</p> <p><文化財事業、主に次の事業について説明></p> <p>文化財保護審議会、文化財めぐり、第42回三条かぐら鑑賞会、ふるさと三条再発見事業、八十里越企画展、遺跡展示会、遺跡講演会、夏休み親子考古学道場</p>
阿部議長	<p>続いて、「公民館事業実施状況等について」の説明をお願いします。</p>
野村生涯学習課長 補佐	<p>資料No.2「平成25年度公民館事業実施状況等について」説明いたします。11月4日現在で作成しておりますが、時間の都合上、9公民館1事業ずつ概要を説明させていただきます。</p> <p><中央公民館、主に次の事業について説明></p> <p>通学合宿事業</p> <p><嵐南公民館、主に次の事業について説明></p> <p>ふるさと講座</p> <p><三条東公民館、主に次の事業について説明></p> <p>身近な防災教育</p> <p><井栗公民館、主に次の事業について説明></p> <p>旭地区体育祭</p> <p><本成寺公民館、主に次の事業について説明></p> <p>あこがれの趣味教室</p>

	<p><大崎公民館、主に次の事業について説明> くらしのツボ講座</p> <p><大島公民館、主に次の事業について説明> はじめての笑いヨガ</p> <p><栄公民館、主に次の事業について説明> おとなの学び家</p> <p><下田公民館、主に次の事業について説明> 子ども体験教室</p>
阿部議長	<p>続きまして、「図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍次記念館実施状況等について」をお願いします。</p>
高須図書館長兼歴史民俗産業資料館長	<p>資料No.3「平成25年度図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍次記念館実施状況について」報告させていただきます。</p> <p><図書館事業、主に次の事業について説明> 大人のためのえほんセラピー、怪談図書館、秋の夜長の朗読会「旅する図書館」、新聞紙でエコバッグ作り、ナクソス・ミュージック・ライブラリー利用促進活動</p> <p><歴史民俗産業資料館事業、主に次の事業について説明> 展示事業、教育普及事業</p>
羽賀諸橋轍次記念館長	<p><諸橋轍次記念館事業、主に次の事業について説明> 一流講師陣による漢字漢文学講座（4講）、第5回諸橋轍次博士記念全国漢詩大会</p>
阿部議長	<p>資料No.1～No.3により「平成25年度生涯学習・社会教育事業の中間報告について」説明をいただきましたが、質疑・ご意見がありましたらお伺いします。</p>
村田委員	<p>文化振興基金はどのように活用が図られ、どの位、金額があるのでしょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>文化振興基金の前の名称は市民文化会館建設基金という基金で、文化会館を建設するため、市や青年会議所が原資を出したり、市民から寄付をいただいたりして、最終的には7,280万円ほどになりました。建設への見通しが立たないという中で、そのままにしておくよりも文化振興のソフトの方へ振り向けたらどうかということで、条例を改正させていただき、「文化振興基金」という名称になりました。その基金を取り崩し、文化振興事業に活用させていただくということでございます。最初は、東公民館ができる際に、東公民館のグランドピアノや展示パネルなど、ハードの部分にも一部使わせていただきました。その後は、文化振興事業で、次世代の文化を担う人材育成のための「わくわく文化未来塾」、文化会館の代替えとしての「芸術鑑賞ツアー」、2つの事業</p>

	<p>について、毎年250万円ほどの支出をさせてもらっています。この文化振興基金の活用については、文化芸術振興に関する懇談会において、事業内容、運営の方法などについて意見をいただいております。今年度は、若手芸術家支援事業も基金活用の対象としております。</p>
米山委員	<p>栄公民館、下田公民館にスマートフォン活用教室という成人教育があります。最近、中・高校生でもスマホを持っている子がいて、トラブルが増えているようですが、大人が使えないのに、子どもに渡してしまうことに関して心配があります。子どもがどのようなトラブルに巻き込まれているのか、大人も知っておいた方が良いと思いますので、そのような観点からの講座もあって良いのではないのでしょうか。</p>
味田下田公民館長	<p>今年「やさしいスマートフォン教室」開催で、NTTドコモのご協力をいただきました。全く初めてお使いになる方を対象とし、主に操作方法と、その中で、未成年者が使えないようにするフィルタリング設定の説明もありました。小さいお子さんが使う時には、注意ができるような内容になっております。</p>
米山委員	<p>子どもたちは学校で説明を受けるが、親の方は意識が違うところもあり、ついていけないところもあるようです。親子で受ける講座があってもよいのではないのでしょうか。</p>
阿部議長	<p>栄公民館長いかがでしょうか。</p>
栄公民館長	<p>下田公民館長がおっしゃっていることと同じです。</p>
阿部議長	<p>米山委員さん、PTAで、親子でするのもひとつの方法ではないのでしょうか。公民館では初心者対象ですので少し趣旨が違うかもしれません。</p>
米山委員	<p>わかりました。</p>
安藤委員	<p>今の件に関しまして、中学校はほとんどやっていると思います。警察や県警のサイバーパトロールなどが来て、危険性などについて指導してもらっています。PTAと一緒にやっているところもあります。</p>
阿部議長	<p>他に質問がないようですので、「(2)平成26年度 生涯学習・社会教育事業の方向性について」事務局より説明をお願いします。</p>
金子生涯学習課長	<p>資料No.4「生涯学習基本方針・重点目標(案)」により説明させていただきます。来年度の方向性につきましては、毎年第2回目に委員の皆様からご意見をいただきながら組み立てておりますので、今回も、こちらからは案として資</p>

	<p>料No.4 で示させていただきました。これについて意見をいただき、更にブラッシュアップしていきたいと考えております。</p> <p><生涯学習課基本方針・重点目標（案）、公民館運営計画（案）について説明></p> <p>以上、私どもの案としてご説明いたしました。これにつきまして、委員さんから事前にご意見をいただいているものもありますが、改めてここで、口頭でご意見等いただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
阿部議長	<p>ただいま、議題（２）について生涯学習課長より説明がありました。また、本日配付されております新潟県第２次生涯学習推進プラン（改定版）の概要版がありますが、これも参考にさせていただき、三条市の社会教育についてご意見をいただきたいと思います。</p>
倉品委員	<p>生涯学習基本方針・重点目標（案）の２ 重点目標（２）文化振興と文化財保護、「⑤高いレベルの文化の基礎や技術を磨きたい中・高校生の子どもを対象に、優れた指導者による育成支援を行う。」が新規に挙げてありますが、どのようにイメージしたらいいのか、具体的な考えがあれば教えていただきたいと思います。</p>
金子生涯学習課長	<p>例えば、スポーツで言うなら酒井高德、ジャズで言うならTOKUさんのような「飛び抜けた一番星」という言い方をしておりますが、スポーツ・文化・学力の一番星を目指す子どもたちに対して支援をしていきたいというものです。わくわく文化未来塾は、入門編として広く文化を拡大したいという趣旨ですが、更に伸びたい、一流を目指したいという子どもたちに対して、一流の指導者を招へいして教室を開いたり、一流の指導者のところへ学びに行っている子どもに奨励金を出すなどの取組を、今、ブラッシュアップしています。文化・スポーツ・学力を合わせた取組の中で、とりわけ生涯学習課では「文化」に対する一番星を目指す子どもたちへ支援していく施策を考えております。</p>
倉品委員	<p>よく分かりました。</p>
阿部議長	<p>「磨きたい」という表現はいいのではないかと思います。最初から限定するような表現はあえて必要ないと思いますので、「中・高校生の子どもを対象に、優れた指導者による高いレベルの文化の基礎や技術の育成支援を行う。」というような表現でいかがでしょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>今ほどのような内容を、的確に表現させていただきたいと思います。</p>
村田委員	<p>今までは、５に「諸橋轍次記念館のリニューアル効果を発信するとともに、諸橋博士生誕130周年記念事業をとおして記念館の活性化を図る。」が挙げ</p>

金子生涯学習課長	<p>られていて、今回は、代わりに今説明いただいたものが新しく入ったということです。その通りだと思いますし、そういう逸材を見つけて磨くことが三条の活性化になると思いますが、三条には文人とか、諸橋先生の他にも大変な業績を持っている方々がおられます。今年、諸橋轍次記念館でやったようなほどまで充実していなくても、このような人がいるということを市民に知らしめるようなことは大事なのではないかと思います。ぜひ、そういう内容は入れてほしいし、この部分は取らないでいただきたいと思います。</p> <p>そして、文化会館の設立はもうだめなんだというように言われましたが、三条はそういう施設が不足しているし、岩田さんの絵はかわいそうだと思います。堂々と飾って、見ることによって得るものがあると思います。そういう道は、閉ざされてしまっているのでしょうか。ぜひ、施設ができてほしいです。諸橋轍次記念館はできて本当に良かったと思っております。箱物の建設は大変だと聞いておりますが、その道は絶たないでほしいと思います。</p> <p>以前にも言われたことがあるご意見ですが、箱物を、来年度の重点目標にというのは、なかなか難しい。重点目標に、名誉市民の文化の発信についても入れた方がいいということであれば、それ相応な文章で追加させていただきます。</p>
阿部議長	<p>貴重なご意見をいただいておりますが、他にも、社会教育の中に、こういう事も必要ではないかというものがありますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>公民館を運営するにあたっての質問です。地区公民館の指定管理者制度について1箇所導入されていますが、今後の方向性として、他の地域で手を挙げるところがなければそのままそれでよいのか、それとも全面的に指定管理の方向にゆくのか、どちらが強いのでしょうか。それによって、指定管理にゆかなければならないのであれば、考え方もちょっと変わってくるのですが。</p>
金子生涯学習課長	<p>指定管理につきましては、地区公民館の指定管理の進め方と、他の施設でやる指定管理の進め方は違います。図書館、諸橋轍次記念館、資料館は指定管理にしましょうということで決まり、公募して、応募された団体から選定しています。公民館の指定管理についての計画は、地元の団体、具体的には自治会やコミュニティなりが指定管理にしたいと要望があった時に、指定管理に移行します。公募して手を挙げた団体に指定管理を受けてもらうということではないので、地元の要望がないとその指定管理が成り立ちません。姿勢が違います。私どもとしては、各地域に指定管理を受けることができますよというお話はさせてもらった中で、井栗公民館は受けたいということでしたので、受けてもらいました。大崎公民館からもそういったお話があったものですから、地元に向いてお話し申し上げました。本成寺公民館でも一時そういうお話はありましたが、具体化していく中でできなかったというのが現状です。大島公民館はそのような動きはありません。中央公民館、嵐南公民館、東公民館、栄公民館、</p>

	下田公民館については指定管理の候補にはなっていません。
佐藤委員	積極的に進めているわけではないのですね。手を挙げるところがなければ直営のままなのですね。分かりました。
金子生涯学習課長	投げかけはしています。
村田委員	今、指定管理を受けているのは二つですか。
金子生涯学習課長	一つです。今は井栗公民館だけです。
村田委員	公民館の運営計画のところ、子どもの「生きる力」とありますが、以前は「心身の成長を育むため」という文言を使っていましたが、あえて「生きる力」に変える意図を聞かせていただきたい。
金子生涯学習課長	体験学習など、文部科学省の社会教育の中では「生きる力」を育むためということが盛り込まれていたと思います。それをここに全面的に出させていただきました。
阿部議長	他にご質問等ないようでしたら、次に「(3) 三条市生涯学習市民意識調査『生涯学習のアンケート』の結果について」事務局の説明をお願いします。
金子生涯学習課長	資料No.5は、厚い調査結果資料になっておりますので、掻い摘んで説明させていただきます。 <資料No.5について説明>
阿部議長	アンケートについて細かい質問もあると思いますが、これは「第二次三条市生涯学習推進計画策定の基礎とすることを目的とします」ということとなっておりますので、この生涯学習推進計画に私たち社会教育委員の意見も盛り込まれるということですので、このアンケートの件については、次回の研究材料ということにさせていただきますと思います。 次に「(4) その他」について、事務局から説明がありますでしょうか。
金子生涯学習課長	<来年度の中越地区社会教育研究集会について：別添資料により説明> 三条市が当番ということで、来年9月3日(水)中央公民館で開催することになっておりますのでよろしくお願いします。
阿部議長	今年と来年、皆さんの任期は2年ですので、このメンバー全員でこれを受け持たなければならないと思います。よろしくお願いします。

安藤委員	会場は中央公民館決定ですか。参加予定が120～130人ということですが、駐車場等、対応可能でしょうか。
金子生涯学習課長	1人1台で来るというわけではなく、各市町村はマイクロバスで来たりするので、鍛冶道場などを手配して対応可能です。
阿部議長	それでは、報告事項とさせていただきます。別紙1により、平成25年度研修会・研究会等に参加された皆さんの状況を記載させていただきました。委員として参加した時の感想等を、1人1か所3分程度でお願いしたいと思います。それでは7月18日「社会同和教育市町村研修会」の参加について、感想のある方をお願いします。
米山委員	講師の話はリアルで具体的な内容でした。私達は鈍い方だなと思います。今回は結婚がうまくいかなかったという事例でした。自分としては差別しているつもりはなくても、向こうは差別を感じているのだと知りました。
阿部議長	7月25日「社会教育委員等研修会」についてお願いします。
村田委員	新任として参加しました。永田さんという県の社会教育協議会の会長さんが話をされ、その時は分かったような気がして勉強したと思いました。時間が経つと忘れてしまったことも多いのですが、住民と生涯学習課との間に立つのが社会教育委員なのだから、立場をわきまえていろいろなものを見たり、意見も言わねばならない、自分が出ていかなければならないと思いました。そう思い、自分も参加してみても三条市は力を入れて頑張っていることもよく分かり、来年もいろんな所へ顔を出していこうと思いました。
倉品委員	社会教育委員の基礎基本をレクチャーいただきました。いいなと思ったのは、話し合う形態を学び、4人のうち1人が順番に変わる方法は、新しい情報がもらえて少人数でも意見がたくさん出ました。形だけでなく、いかに本音を出して話し合えるかということを私たちはもっと考えていかなければと思います。 ある市町村では委員だけが集まって6～7回集まっています。また、視察も行っているとのこと。3回だと会議内容が決まってしまう。委員だけが集まって本音を出し合う会議も良いと思います。そういった方向も視野に入れていけたら良いと思います。
阿部議長	8月29日・30日「第54回関東甲信越静公民館研究大会兼第64回新潟県公民館大会」に参加された方をお願いします。
弥田委員	社会教育をどのようにやったらよいかということで朗読劇があり、楽しくわ

阿部議長	<p>かり易かったことが印象に残っています。</p> <p>10月18日「第13回新潟県社会教育研究大会魚沼大会」では、2枚綴りの報告資料のとおりですが、第2分科会の発表が三条市の当番でしたので、テーマ「わくわく文化未来塾への取組」～文化をとおした地域の大人と子どもの絆づくり～の事例発表をさせていただきました。佐藤委員に、この時司会をしていただきました。お疲れさまでした。何か感想ございますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>司会を経験させていただきましたが、意見交換をするテーマが決まっていなかったもので、阿部さんからの話題提供の後、フロアから出た意見を拾った中でどのように方向をもってゆくかが難しかったです。できるだけフロアから多くの意見をもらうことで進めました。20分位の時間でしたが、なんとか消化できたという感じです。司会という役割の難しさを実感しました。</p>
阿部議長	<p>ありがとうございました。11月14日「第44回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会」は私が出席させていただきました。私が参加した第1分科会で、「地域の絆を育むネットワークづくり」ー地域主体の世代間交流とそこから発生する「学び返し」ーというテーマでした。ちょうど私達が、わくわく文化未来塾で子ども達に今伝えていかなければだめだというものを、調布市も感じておられ、調布市はお祭りをテーマにして発表されました。言葉を「学び返し」というのです。お祭りを通して伝えてきたことを、今、若い人達に学びを返して行って、またそれを地域の伝統文化として繋いでいこうということで発表されています。資料のコピーを配付させていただきましたので後で読んでいただきたいと思います。</p> <p>こういった研究会に参加すると、社会教育委員は行動しなければだめだとかしなさいしなさいばかりで、審議だけをしているのが社会教育委員ではないと言われると、三条市では何をしたらいいのだろうかと感じさせられます。</p> <p>調布市は生涯学習の推進プランと同じように、社会教育の基本計画、10年間計画を社会教育委員が作ったということです。そんなことを言われて驚きながら帰ってきたのですが、先ほどのアンケート結果を見ながら、三条市も生涯学習や社会教育の10年計画に、私達、委員も考えながら、学んだことをどう社会に還元するかということもこれからの三条市民の社会人教育には大事なことなのではないかと思います。教育委員会と社会教育委員の交流を、やはりたいのい地域で今進めているということであり、これが大事だと思っております。子どもを育てる、何をやるにしても、社会教育の重要性がこのような大会に行くと本当に強調されているので、勉強しながら帰ってきた次第です。</p>
阿部議長	<p>11月21日「中越地区公民館長・主事・公運審等研修会」について、石原委員さん何かございますか。</p>

石原委員	<p>結ぶとか公民館の運営のやり方について、大変参考になりました。来年の1年間を公民館や地域で一生懸命やりたいと考えさせられました。</p>
阿部議長	<p>発表された長野の方が、長野は教育県ですが、公民館が本当に社会教育の中心になって動いていて、私も驚きました。石黒委員さんいかがでしょうか。</p>
石黒委員	<p>市民権がない社会教育委員とは何か。私は2回目ですからなんとかわかりました。でも、実際は会議や研修ばかりで、私は何をしてきたかと思うと、考えていなかったようです。考えて行動しなければ成果が上がらないというのは当然であるし、役に立つようにしなければならないということを、私自身はよく考えさせられます。一つは社会教育委員になってから数カ月ですが、私自身の資質的なものがまだ無いのです。どういうことをしたら社会教育委員になれるのか、私にはうろ覚えであります。社会教育委員でなく他の名前ではいろいろ活動させてもらっていますが、果たして社会教育委員として私は何ができるのかが見えません。ここで私自身を少しでも高めたいという気持ちもありますし、皆さんにも考えていただきたいと感じています。もう少し中身のある会議をしてもらった方が良くと思います。資料は事前に目を通してあるので、説明はあまりなくても良いと思うし、質疑に時間をかけた方が良くと思います。</p> <p>もう一つ、研修会の時、ある地域の人で、身分証明書を発行してもらったほうが、自覚が出てくるのではないかという意見がありました。ここでは何もありません。ただ普通の人々が公民館へ集まってきて会議をしています。成果はどうなっているのでしょうか。その辺も検討していただき、自覚させるという意味ではバッジも効果があるのではないかと思います。</p> <p>社会教育委員でバッジをつけている方がいらっしゃいます。</p>
阿部議長	<p>全社連のバッジは大会に行くと5,000円で売っているのです。</p>
安藤委員	<p>安藤委員さん、社会教育について何かありますでしょうか。</p>
阿部議長	
安藤委員	<p>社会教育委員は教育委員会の直轄にならないのでしょうか。生涯学習課は教育委員会に戻らないのでしょうか。先ほどからお話がありますが、全国的にみても、生涯学習課の中における社会教育委員の位置付けが教育委員会から外れている三条市は珍しいと思います。教育委員会との連携は必要と思います。調布市は、教育委員会へ提言するのを設置目的とされています。そういうところもあるという事実も知ってもらいながら、三条市の社会教育の在り方について重みを感じていただき、上に挙げていただきたいと思います。</p>
金子生涯学習課長	<p>12月の議会でも同様な質問がありました。市長の答弁としては生涯学習課は市民部という位置付けで、教育委員会とは組織の中で連携していく努力をす</p>

<p>阿部議長</p>	<p>ると説明を行っており、組織を元に戻すというような発言内容ではございませんでした。</p> <p>教育委員会との懇談は、必ず3月までに機会を作っていただけるということでしたので、今のことを教育委員さんとも意見交換したいと思います。社会教育主事を必ず置いてほしいということもいつも出ております。</p> <p>本日用意された議題につきましては無事終了することができました。長時間ありがとうございました。それでは、最後に阿久津副議長より閉会の挨拶をお願いします。</p>
<p>阿久津副議長</p>	<p>なかなか議題も多く、大変時間がかかって申し訳なく思っております。先ほどからいろいろ意見が出ておりますけれども、社会教育委員の在り方、市の教育委員会の体制等、今後もいろいろ討議し、市のために尽くしていきたいと思っております。本当に長時間ありがとうございました。</p>